

植物多様性センターの「人間散布のヤブジラミ」

初夏のこの時期、学習園のあちこちに白い小さな花が目につき、お客様からお問い合わせをいただきます。「ヤブジラミですよ」とお答えすると、決まって「可愛い花なのに可哀そうですね」と感想を漏らされます。植物は、種子散布の方法で生き残る確率が大きく左右されます。ヤブジラミは、動物（人間）散布のひっつき虫として、大成功しているのですから、決して不名誉な名前ではないのです。



開花:枝分かれした先に小さな花を複散形花序に咲かせる



花の構造:5枚のハート型の花びらに、ちょっぴり薄紫色の葯



若い果実:まだ緑色の赤ちゃんシラミ、フックつきの毛が密生



通路に沿って生育:明らかに人間散布が行われている証拠